



平戸梨丘

発行：横浜市立平戸中学校 校長 阿部 亮一
横浜市戸塚区平戸町993-4 Tel.045-823-8272

「コロナ禍を越えて」

副校長 宮内 浩一

今年度、平戸中学校副校長として着任いたしました宮内浩一と申します。前任者の西田副校長の想いを引き継ぎ、笑顔とおおらかな心で「チーム平戸」の人と人とのつなぎ役として、教職員とともに、教育活動の充実に努めてまいります。

令和5年度が始まり1か月が過ぎました。1年生は中学校生活に慣れてきたでしょうか。まだまだ、友人関係や日々の学習方法等手探り状態で、緊張の日々かもしれません。また、1年生に限らず2、3年生はクラス替えもあり、新しい仲間や担任の先生など、環境の変化が多く慣れるまで時間がかかるかもしれません。その様な中、学校生活の不安を解消できるよう、4月17日から4日間担任の先生との教育相談を行われました。先生と生徒の1対1のお話の中で、普段思っていることや考えていることなど、先生に打ち明ける良い機会になりました。時間の制約もありもっと話を聞いて欲しかったり、もしかしたら他の先生にも話を聞いて欲しかったりなど、十分でないこともあったかもしれません。教育相談としての期間は終わっても、継続して先生に聞いて欲しいことや相談事があれば、遠慮せず打ち明けて欲しいと思います。先生たちはいつでもみなさんの良き相談相手です。

さて、いよいよ5月8日から、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行し、様々な制約がなくなります。コロナ禍では通学の制限があったり、学校行事が中止になったりと学ぶ機会を奪われてきました。徐々に制限も緩和され日常生活を取り戻しつつありますが、この生活に慣れてしまった部分もあり、逆に制限が全てなくなることへの不安や戸惑いを感じる人もいます。マスクの着用も個人の判断にゆだねられます。今後、コロナの制限は基本的にはなくなりますが、それでもコロナウィルスが無くなるわけではなく、油断できない面があります。日々の状況を見極めながら、急がず従来の学校生活に戻れるよう、一人一人が意識を高めていくことが大切なのかもしれません。今年も合唱コンクールが行われますが、コロナの制約を意識することなく練習に取り組むことができます。さらにすばらしい梨丘祭になることを、今から楽しみにしています。